



壬生東小だより

第8号

令和4年12月20日
壬生町立壬生東小学校
校長 金久保 雅彦

教育目標・仲よく助け合う子 ・よく学ぶ子 ・たくましい子
目指す子供像「他者と協働し、目標に向かって根気強く取り組む子供」



【壬生東小HP】

2022年 お世話になりました

今年も残すところ2週間あまりとなりました。今年も、コロナ禍のため保護者の皆様や地域の皆様に学校においていただく機会が少なく、申し訳なく思っています。それでも子供たちのために、様々なところでご協力をいただき感謝に堪えません。本当にありがとうございます。おかげさまで教育活動も通常に近い形で実施できることが多くなり、大きな行事も実施することができました。その中で子供たちは確実に成長しています。

《5年生 出前授業「民謡」》

日本の伝統音楽に親しみ、よさを一層味わえるようにしていくことを目的に民謡「喜峰会」の方をお招きして出前授業をしていただきました。自分たちで歌うことはできませんでしたが、尺八、三味線、太鼓、ささらなどを紹介していただきました。とちぎの民謡である「日光和楽踊り」では、踊りも教えていただきました。



《第3回学校運営協議会》



11月25日(金)に第3回目の学校運営協議会を行いました。今回は、「家読ふれあい読書」の感想文コンテスト、道徳の授業参観、来年度の日課(素案)作成を行いました。

感想文コンテストでは、「甲乙つけがたく、どれも素晴らしい」「親から子へ、子から親へつながっているのがよい」「親子で読むってほんわかしている感じがいい」「家族の会話があるのを想像してしまい、いいなあと思う」などの御意見をいただきました。

《授業参観・学級懇談》

11月30日(金)に授業参観及び学級懇談を実施しました。多くの保護者の方に御来校いただき、子供たちもいつも以上にうれしそうな笑顔で、授業を受けていました。また、学級懇談もオンラインではなく久しぶりに対面で行いました。よき交流の場になったことをうれしく思います。保護者の皆様、御参加いただきありがとうございました。



《安全教室》

12月2日(金)に安全教室を実施しました。警察の方をお迎えし、不審者が学校に侵入した場合を想定し行いました。避難した後は、体育館や各教室に分散し、DVDや紙芝居をみて、対応について確認しました。「1.5メートルの距離をとる」「お・か・し・も」「自分の命は自分で守る」などの確認ができました。



子育ては、「戸惑いと悩み」の連続です

～正しいと考えられる方向での対応が大切です～

子育ては一筋縄ではいかないものです。それは昔も今も同じです。昔はこんなことはなかったという人がいますが、程度や現れ方等に差こそあれ、どの時代も人間のよき子育ては簡単ではなく難しいのです。そこで、課題を感じたとき、親としてどのように対応するのが賢い選択なのでしょう。こう対応すればすべてうまくいくという万能薬はないですが、大切にしたい考え方や対応策はあります。そのいくつかを紹介します。

- ①悩みがあったら、その道の信頼できる専門家や学校等に相談する(自分をさらけ出してしまったほうがうまくいくことが多い)
- ②子どもの言い分はよく聞く(しかし、子どものすべての言い分を鵜呑みにしない。よくわかってあげることが大切)
- ③世間の偏見や誤解、自分の思い込みに左右されないことが大切(意外に多い)
- ④自分の経験や周りの助言は大切だがよく吟味して対応する
- ⑤きちんと育てようと思ひすぎない(ユーモアや心の余裕が大切)
- ⑥適度に甘えさせてあげることも大切(愛情不足の子が多い)

子育てに関しては親の誰もがアマチュアなのですから、うまくいなくて当然だと考えることが大切です。他の家はうまくいっているように見えがちですが、ほとんどの親がそれぞれのレベルで悩んでいるのが実情です。子育ての愚痴や悩みは、はき出してしまふのが結局は近道です。スクールカウンセラーや校長・教頭・担任等、相談しやすいと思う人に相談してみませんか。現実的にはなかなか相談しづらいと思う気持ちはわかりますが、そこはプチ勇気です。一緒に考えていきましょう。

校長室の窓から

ある晴れた朝、ふと、校庭に目をやると学年花壇の手入れをしている子供たちがいました。一生懸命に雑草を抜いたり、花がらを摘んだりしていました。低学年の花壇を手入れしているのに体格のいい児童がならんでいたのが不思議に思いました。なんと、5年生が手入れをしていたのです。自分たちの花壇の手入れが終わったので、低学年花壇も手入れしていたとのことでした。誰に頼まれたのでもなく、自然と行動している姿が素晴らしいと思いました。あと3ヶ月で6年生、心も最上級生になるための準備ができているようです。

